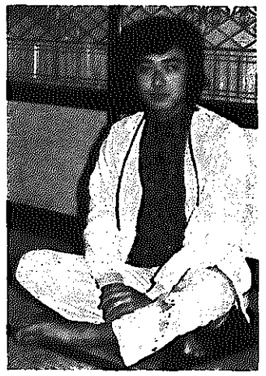
農家のあととり ⑩

安定経営をめざし



笹川鉄男さん
（山崎興野・21歳）

農業は、気象条件や市場の動向などで、所得が大きく左右される職業です。

そこで、経費の支出をなるべく抑え、安定させることが、経営の大きなポイントだと思います。

そのためには気象条件に適した品種を選び、無理のない栽培と確実な販売ルートを持つことが、必要ではないかと思います。

現在、私の家の農業は稲作だけです。

稲作は、忙しい時と暇な時の差が大きい――これは他の農作業にもいえることですが……。

そこで、稲作の暇な時に労働のピークがくるような農作物を導入すれば、労働力が平均化し無理のない作業行程を組むことができると思っています。

でも、今までは稲作のことだけでせいいっぱいでした。どんなものを導入すればよいのか、考える余裕なんかありませんでした。

高校を卒業して、五年目を迎え、ようやく稲作のことが少しずつわかってきた今日。

これからは所得を安定させ、労働力の片よりをなくすことを目標にして、農業経営に力を入れて行きたいと思います。

しろね・むかし話 ⑨

歌のけいこ

ある寺のおしょうさんのところへ、毎日、花屋と、とぎ屋と魚屋の子が歌のけいこに行きます。

ある日、おしょうさんが寺役にゆかれたあとに、三人がいたづらして、おりんをこわしました。するとおしょうが、かえられて大いに三人を叱りました。三人であやまりますと、

「歌をつくれば許してやろう」と、いわれました。

そこで花屋の子がまず、

「りんりんと　庭に咲いたる桜花　ひとふりふれば花はちりりん」

とぎ屋の子は――

「りんりんと　こそでにそえしこなぎなた　ひとふりふれば敵はにげりん」

魚屋の子は――

「りんりんと　ほづけにつけし塩いわし　ひとロくえば口はびりりん」

おしょうさまは、これを、およみになって

「みなよくできた」と、三人を、お許しになりました。

文　木下牛太郎編集〝白根地方お伽噺〟より
え　伊藤栄一

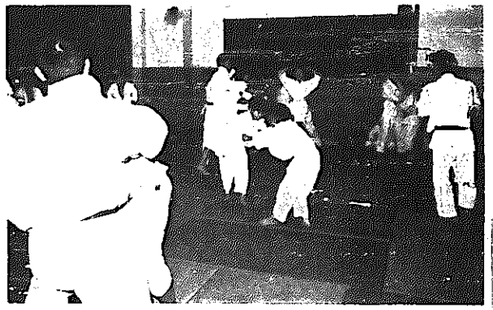
保育園をたずねて

諏訪木

新年お楽しみ会

「あけましておめでとう――」。14日、諏訪木保育園で〝新年お楽しみ会〟が行われました。

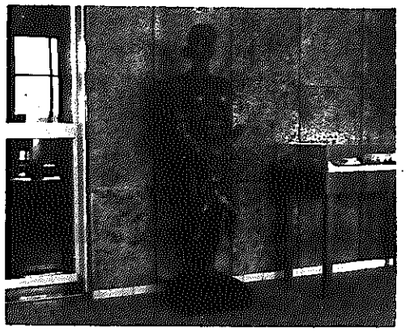
新しい年を迎え、園児たちも元気いっぱいです。みかん運びゲームやカルタ取りなどにハッスル――今年も相当なワンパクぶりを発揮しそうな、お楽しみ会でした。



ちびっ子柔道家？ 寒げいこ

「技と力の激突から芽生える心の対話、身を持って教えることが大切」と指導の谷川美喜男さん。柔道スポーツ少年団（代表狩谷十代典さん）は、1月11日から寒げいこ。10年もの伝統を持つだけに礼儀作法も厳格です。

この日は鏡開きとあって、けいこのあとにおしるこのごちそうが……。



市民ホールに『母子像』が

市民ホールに『母子像』が飾られました。これは、白根ライオンズクラブ（竹内久松会長）が「市役所を訪れる人たちにうるおいを」と、市へ寄贈したもの。像の制作者は佐渡の田中足穂さん（県展委員）です。

グループ登場

若い人に継いでもらいたい

庄瀬俳壇

庄瀬俳壇が発足したのは四十七年のこと――新しく誕生したというより、会員たちが先輩の伝統を受け継ぎ〝復活させた〟と、いった方がいいようです。

庄瀬地区は、昔から句会のさかんなところ……。

とくに戦時中は都会から疎開してきた人と地元の人たちが、苦しいひとときを忘れ、一緒に句を読み楽しんだそうです。

しかしながら、時代の流れとともに、こうしたよき行事もいつしか姿を消してしまいました。

会長の西山了空さんは「今では、ようやく会報も出せるようになりました。句を読むことで心にうるおいができれば……。

ただ残念なことは、若い人の参加がないことです――これからもこの伝統を守ってもらいたいのですが……」と、チョビリさびしそうに話しています。

〔会員の声〕

須戸義夫さん

一人でも、大ぜいでも楽しめるところがいいですネ。一日の生活を句にした俳句日誌をつけてみたいと思っています。

市民文芸

＜俳句＞　庄瀬俳壇

農民にきびしい減反の初日記　須戸義夫
平凡に生きて悔なしおらが春　石田豊一
山茶花のこぼれて咲けり細雪　坪井桐太郎
松括けし病床の窓御降りぬ　針貝静男
松の内もたった二人の薄灯哉　桜井祐子
初春を病み南天の紅恋しかり　石田豊実
四日はや弁当一つの冬仕事　田中昭一
読み返す心重き初便り　西山了空
カルタ取り絵で取る孫の赤き指　西山静江
お飾りに幸多かれと梅の散る　東町　渡辺　勤

＜川柳＞　白根川柳文芸会

絵馬の背にさばき切れない願い事　今井七郎
馬の目に緑が消えてゆく日本　高橋祐四雄
面舵を妻に取られた三ケ日　大井義雄
死ぬまでを続く夫婦という芝居　長井徳市
ヘソクリで会費アルファー妻持たせ　中村尚治

どなたも参加できます

第一回白根川柳大会

――作品の準備を――

▶とき　3月19日　▶ところ　厚生会館
▶参加料　1,000円（中食用意あり）　▶参加受付　当日会場で　▶投句のみ　五六の町　長井理髪店へ